

ようこそ、文学部へ。

日本語日本文学科 | 英語英米文学科 | 社会学科 | 人間科学科 | 歴史文化学科



自由な学びのときが始まります！

ご入学おめでとうございます。4年間の学びの場として、皆さんが甲南大学文学部を選ばれたことを本当に嬉しく思います。

大学生活は何と言っても自由です。授業だけでなく、サークルやアルバイトや留学、ボランティアなど、あらゆる経験を通じて自分を再発見し、たくさんの人々とつながってください。

「生きるとはしよせん、答えること」と語った思想家がいます。あなたは今、どんな問いを持っていますか？ 全世界を混乱に陥れている新型コロナウイルスの蔓延にしても、気候変動やAIの登場にしても、先の読めない時代の予兆が至るところに見られます。そのような不穏な時代を生き抜くためには、凝り固まった考え方を捨てて柔軟な頭で考え、たくさんの方の問いかけを自分の中に蓄えることが大切です。文学部の5つの学科が提供する学知には、そのヒントが詰まっています。

文学部の学びには「正解」という考え方はありません。大学教員は「答えを教えられる人」ではなく、人類が蓄えてきた知の蓄積の前に謙虚に研究を積み重ねるエキスパートであり、皆さんと探求を共にする仲間です。素晴らしい先生方や友人たちと自由に物事を考えた経験が、自分だけの答えを手にする礎になったと、皆さんが思い返す日の来ることを信じます。

文学部長 西 欣也

日本語日本文学科 (田中貴子 主任からのメッセージ)

新入生のみなさん、日本語日本文学科へようこそ！ 時々刻々と変化する状況で生きてゆくためには、「故きを温ねて新しきを知る」こと、そして自分の言葉で発信することがいっそう大切な力となります。これからの4年間、みなさんが見聞を広め、交友を深め、人間として成長していくために、日文科メンバーは全力をあげて応援いたします。

英語英米文学科 (中谷健太郎 主任からのメッセージ)

新入生の皆さん、ようこそ甲南大学文学部へ！ 英語英米文学科のキャッチフレーズは「はみだす英文」。英語を軸にしながら、文化・文学・言語学から政治・歴史・心理学までさまざまな領域に「はみだす」ことを推奨しています。どうはみだすかはみなさん次第です。グローバルな視点を持って広い視野を身につけましょう。

社会学科 (帯谷博明 主任からのメッセージ)

みなさんのご入学を心から歓迎します。実り多い学生生活が送れることを願っています。社会学科の特徴は、文学部の中にあること、社会学・文化人類学を中心に多彩な学びが展開できる点にあります。目下の「コロナ禍」も、社会現象の一例ですね。これからの4年間、さまざまな社会現象を読み解くための視点と方法を、仲間とともに修得していきましょう。

人間科学科 (川口茂雄 主任からのメッセージ)

ご入学おめでとうございます。大学は、高校までとはまったくちがう、自由度の高い世界です。人間科学科でも、ヴァリエーションに富んだ、豊富な科目ラインナップが皆さんを待っています。まずは履修関係冊子やシラバスを楽しくご覧ください。

歴史文化学科 (出口晶子 主任からのメッセージ)

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。見せたいもの、いきたいところはいろいろあります。しかし、まずは新入生の皆さんの顔が見たい。画面越しではなくね。教室でお会いできるのを楽しみにしています。一方で文字で伝えることも鍛えておいて損はありません。どんな状況でも凝縮された学生生活になるよう、我々も努力します。どうぞよろしく願いいたします。

